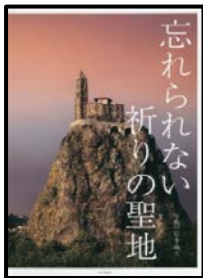




# 新着図書案内

2018年9月発行



## 『忘れられない祈りの聖地』

教会、モスク、寺院、巡礼地。強烈に心に残る穏やかで、荘厳なる建造物やミサの光景…。祈りの力により存在する世界の美しき場所「聖地」の、息をのむほどの圧倒的建造物、高揚感に包まれる人々の姿を写し撮った写真集。

富井 義夫 // 著 山と溪谷社



## 『ホタルの不思議な世界』

煌めくホタルたちの可憐な姿からは想像もできないドラマチックな一生…。求愛儀式や強力な毒素、誘惑の罠を仕掛ける擬態、生存の危機に立たされている現状など、ホタルの生態について詳しく解説する。

サラ ルイス // 著 高橋 功一 // 訳 大場 裕一 // 監修 エクスナレッジ



## 『数学の歴史物語 古代エジプトから現代まで』

古代エジプトから現代までの様々な数学者を取り上げ、彼らが生み出した数学的内容と、それが生まれた時代背景、その数学がきっかけとなって起こった科学や技術の発展、後世への影響を解説。貴重な図版やイラストも多数収録。

ジョニー ボール // 著 水谷 淳 // 訳 SBクリエイティブ



## 『鳥類学者の目のツケドコロ』

そこらへんにふつうにいる鳥でも、新たな「目のツケドコロ」を持てば、ずっと興味深く、おもしろい存在になる!“カラス屋”の松原先生が、スズメやツバメ、ヒヨドリ、ウグイスなど、身近な鳥について語りつくす。

松原 始 // 著 ベレ出版



## 『世界一高価な切手の物語 なぜ1セントの切手は950万ドルになったのか』

世界に1枚しかないとされる切手は、どのようにして950万ドル(約10億円)の価値を有するに至ったのか。約160年前、英領ギアナで印刷された切手「1セント・マゼンタ」をめぐるコレクターの数奇な運命と情熱を描く。

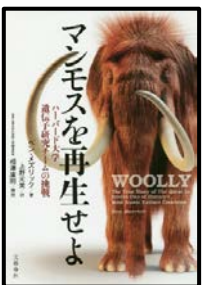
ジェームズ バロン // 著 高山 祥子 // 訳 東京創元社



## 『世界の美しい色の祭り』

春節の赤、ミモザ祭りの黄、ヴェネチアのカーニバルの青…。世界の各地に伝わるさまざまなお祭りを、美しい写真と共に味わえる一冊。ビジュアル面で印象的な、38カ国の祭り68件を、色別に紹介します。

渡部 隆宏 // 著 エクスナレッジ



## 『マンモスを再生せよ ハーバード大学遺伝子研究チームの挑戦』

ヒトゲノム計画を発案した天才ジョージ・チャーチ率いる世界一の遺伝子ラボ。そこへ、中国の若き頭脳、「氷河期パーク」を夢見るロシア人、遺伝子編集の野生児らが結集し…。マンモスを蘇らせる、一大プロジェクトの全貌!

ベン メズリック // 著 上野 元美 // 訳 文藝春秋



## 『人間の解剖はサルへの鍵である』

「人間」ってなんだっけ? 人工知能、ゲノム編集、認知バイアス、人新世、利己的遺伝子…。人間にかかわる新しい科学と技術を通して、現在生じている人間観の変容について考察する。インタビュー、作品評なども収録。

吉川 浩満 // 著 河出書房新社

\*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。  
\*紹介文はTRCマークより引用。\*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。または出版社より許諾を得ています。





## 『キャンディと砂糖菓子の歴史物語』

世界中でキャンディと砂糖菓子がいないところはない？砂糖は体に良い・悪い？甘く美しいキャンディと砂糖菓子が、特別な日の高級品から子供がお小遣いで買える手軽なものへと変化してきた歴史を紹介。巻末にレシピ集も収録。

ローラ メイソン // 著 龍 和子 // 訳 原書房

## 『世界から消えた50の国 1840-1975年』

数年から数十年といった短い期間のみ実在し、そして消えた50の国を紹介。植民地主義、帝国主義、移住ブーム、反乱、戦争が入り乱れていた時代を背景に、歴史の片隅に実在した国の知られざる運命を記す。

ビョルン ベルゲ // 著 角 敦子 // 訳 原書房

## 『究極の文字を求めて』

自分オリジナルの文字を作ることに青春を捧げた著者が、古今東西のユニークな文字を紹介しつつ、その「いいところ」を組み合わせて「究極の文字」を作る。愉快的世界文字紀行。『みんなのミシマガジン』連載を加筆・再構成。

松 樟太郎 // 著 ミシマ社

## 『数字が明かす小説の秘密 スティーヴン・キング、J・K・ローリングからナボコフまで』

古典文学から、ベストセラー小説、ファンフィクションまで、膨大なテキストを解析して数値化し、ジェンダーの偏りや文章のテクニック、名作の法則など、小説にまつわるさまざまな「ルール」や「思い込み」を検証する。

ベン ブラット // 著 坪野 圭介 // 訳 DU BOOKS

## 『蠅たちの隠された生活』

蠅がいなければ、人はチョコレートを食べることも、心地よい世界に暮らすこともできない!? 蠅たちの知られざる生態と驚くべき能力、そして人間との切っても切れない関係を、大英自然史博物館の昆虫学者が解き明かす。

エリカ マカリストー // 著 榎永 一宏 // 監修 鴨志田 恵 // 訳 エクスナレッジ

\*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。  
\*紹介文はTRCマークより引用。\*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。または出版社より許諾を得ています。

## 『鳥瞰図!』

日本の各地を描いた鳥瞰図を約100点収録。鳥瞰図のパイオニア・吉田初三郎の人気の秘密や、江戸時代から現代までの鳥瞰図進化論なども取り上げる。2017~2018年開催のナカノシマ大学の連続講座をもとに書籍化。

本渡 章 // 著 140B

## 『電話交換手はなぜ「女の仕事」になったのか 技術とジェンダーの日独比較社会史』

近代になって、女性の労働力はいかにして市場に投入されたのか。電話交換が技術発展により、男性から女性の仕事へと変わっていく過程を日独比較により分析。男女の仕事の棲み分けを作り上げた社会の一側面を解き明かす。

石井 香江 // 著 ミネルヴァ書房

## 『世界で活躍する仕事100 10代からの国際協力キャリアナビ』

ユニセフ、世界銀行、外交官、開発コンサルタント、医師、公益法人職員…。国際協力に携わる100の仕事を取り上げ、概要からキャリアパス、難易度、給与水準、待遇まですべて紹介。Q&Aとやる気で引けるインデックス付き。

三菱UFJリサーチ&コンサルティング // 編 東洋経済新報社

## 『生きたコトバをつかまえる 日下部文夫著作選』

2014年に97歳で亡くなった言語学者、日下部文夫の生前の論文をまとめた著作選。文字・表記や音声、文法についての論考や、琉球やマイクロネシアでの現地調査に基づいた論考など、幅広い内容の15編を収録する。

日下部 文夫 // 著 くろしお出版

## 『子どもと一緒に覚えない 毒生物の名前』

カツオノエボシ、ニホンマムシ、カエンタケ…。子どもと一緒に外へ出かけた時に遭遇するかもしれない身近な毒生物を、イラストと写真で詳しく紹介する。予防法、処置法、間違えやすい似た生物も掲載。

ふじのくに地球環境史ミュージアム // 監修 加古川 利彦 // 絵 マイルスタッフ

